

今冬の節電対策について

平成 26 年 11 月 30 日

関西広域連合

関西電力管内における今冬の節電のお願い

- 内 容：昨冬同様の節電の着実な実施（平成 22 年度冬比 7% 減）
- 期 間：平成 26 年 12 月 1 日（月）～平成 27 年 3 月 31 日（火）の平日
（年末年始 12 月 29 日～1 月 4 日を除く）
- 時 間：9：00～21：00
- 留意事項
 - 〔家庭〕
 - ・ 高齢者や乳幼児、体調が悪い方のおられるご家庭には、健康上の支障をおよぼさない範囲での節電をお願いします。
 - 〔産業・業務〕
 - ・ 産業活動や病院、福祉施設、鉄道などのライフライン機能、都市機能等の維持に支障を生じない範囲での協力をお願いします。

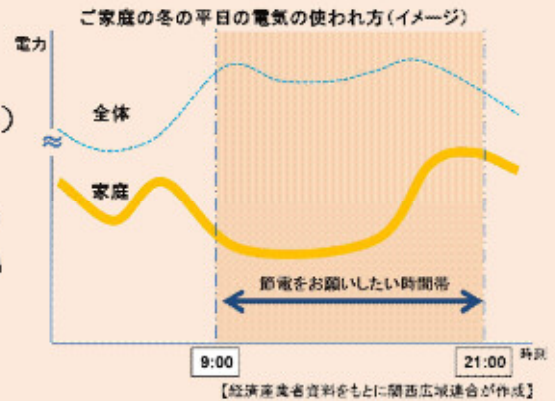
- 1 府県民・事業者等への広報・周知（近畿経済産業局、関西電力、構成府県市が連携実施）
 - ・ 街頭啓発
 - ・ テレビ、ラジオ、広報紙、ホームページ、メルマガ等による広報
 - ・ 各種イベント等とのタイアップ
〔参考：別添節電チラシの活用〕
- 2 構成府県市の主な率先取組み事例
 - ・ 電力使用量の削減（照明やエレベータの間引き、空調温度管理の徹底など）
 - ・ LED照明やLED信号機等、省エネタイプの機器の導入
 - ・ 見える化設備やBEMSの導入、省エネチューニング等による電力需要の抑制
 - ・ ノー残業デーの徹底等
- 3 電力需給ひっ迫時の対応
 - ・ 万一の電力需給ひっ迫時における市町村、府県民、関係機関等への緊急メールの発信、節電の要請等
- 4 関西電力との連携
 - ・ 電気の見える化システムの普及促進
 - ・ 電力需給の次週予測とその実績の報告
 - ・ 最大電力と気温の推移や、用途別・地域別の電力量実績の定期的な報告
 - ・ 供給力に支障をきたすトラブルの発生等の連絡（発生次第）

みんなで冬の節電アクション! (家庭編)

今冬も、関西電力管内において電力が安定して供給されるためには、“一定の節電”が必要です。安心して電気を利用できるように、昨冬同様の節電の着実な実施について、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

関西電力管内における今冬の節電のお願い

- 内 容：昨冬同様の節電の着実な実施（平成22年度冬比7%減）
- 期 間：平成26年12月1日（月）～平成27年3月31日（火）の平日（年末年始12月29日～1月4日を除く）
- 時 間：9：00～21：00
- 留意事項：高齢者や乳幼児、体調が悪い方のおられるご家庭には、健康上の支障をおよぼさない範囲での節電をお願いします。



具体的にお願したいこと

① 着実な節電の実施



- 〔空調〕 ○重ね着などで暖房は必要最小限に
○みんなが1部屋に集まりこたつなどで団らんを
○エアコンを使用する場合、暖房の室温は20℃に
- 〔照明〕 ○日中は太陽光を取り入れてできるだけ消灯
○人のいない部屋や廊下などではこまめに消灯
- 〔テレビ〕 ○テレビを見ない時にはこまめに電源OFF
○テレビを省エネモードに設定
- 〔冷蔵庫〕 ○冷蔵庫の温度設定を「中」から「弱」に切り替え
- 〔その他〕 ○電気使用量のお知らせサービスの活用
○消費電力の高い電気製品はできるだけ使用を控える
○使わない機器はプラグを抜く
○ガスや石油等を使った暖房器具を利用する



② 中長期的な視点での省エネルギーの取組み

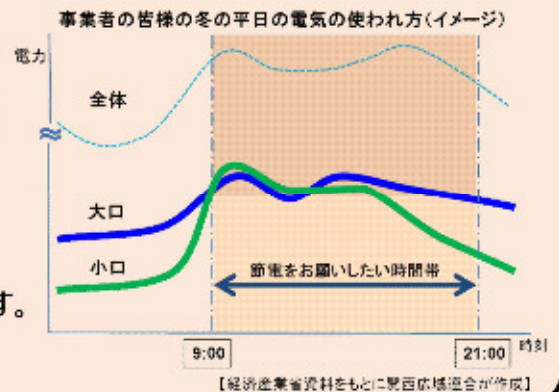
- 〔家電〕 ○省エネ性能の高い家電製品への買い替え
- 〔住宅〕 ○自然光の取り入れ、照明のLED化
○二重窓にするなど住宅の断熱性能を向上
○太陽光発電システムや家庭用燃料電池の導入

みんなで冬の節電アクション! (産業・業務編)

今冬も、関西電力管内において電力が安定して供給されるためには、“一定の節電”が必要です。安心して電気を利用できるよう、昨冬同様の節電の着実な実施について、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

関西電力管内における今冬の節電のお願い

- 内 容：昨冬同様の節電の着実な実施（平成22年度冬比7%減）
- 期 間：平成26年12月1日（月）～
平成27年3月31日（火）の平日
（年末年始12月29日～1月4日を除く）
- 時 間：9：00～21：00
- 留意事項：産業活動や病院、福祉施設、鉄道などの
ライフライン機能、都市機能等の維持に
支障を生じない範囲での協力をお願いします。



具体的にお願したいこと



① 着実な節電の実施

- 〔空調〕 ○重ね着などで暖房は必要最小限に
○エアコンを使用する場合、暖房の室温は19℃に
○使用していないエリアは暖房停止
- 〔照明〕 ○天候や業務に応じて窓際消灯や照明を間引き
○使用していないエリアはこまめに消灯
- 〔OA機器〕 ○パソコン、コピー、プリンタは必要数を絞り、省エネモードに設定
○使わない機器はプラグを抜く
- 〔その他〕 ○電気使用量のお知らせサービスの活用
○残業はできるだけ少なく
○ガスや石油等を使った暖房器具を利用する



② 中長期的な視点での省エネルギーの取組み

- 〔電気機器〕 ○省エネ性能の高い機器への買い替え・リース替え
- 〔照明〕 ○自然光の取り入れ、照明のLED化
- 〔全般〕 ○太陽光発電システムやコージェネレーションシステムの導入
○BEMSで見える化・エネルギー管理